

## シン学校プロジェクト

# 地域の声を活かした学校づくりを求める

一宮市6月議会 6/10  
 一般質問報告② 渡辺さとし

**質問** シン学校プロジェクトに向けた地域の取り組み状況は？

**答弁** 市内10連区から相談や質問があり、6連区(大志、西成、奥町、小信中島、大和町)において要望があり説明会を行いました。



**質問** シン学校プロジェクトへの意見はどう生かされるのか？

**答弁** 「シン学校プロジェクト候補校選定委員会」で評価を行い候補校を選定。その候補校一覧から、学校の状況などの教育的な視点、地域の現状などの行政の視点を踏まえ、市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」で対象校を決定します。

**質問** シン学校プロジェクトへ、尾西・木曽川の給食自校方式の存続を求める多数の意見に「教育委員会において、共同調理場で調理した給食を配送する方式を基本とすることに決定」と回答だが、地域の要望に応えるつもりはあるのか？

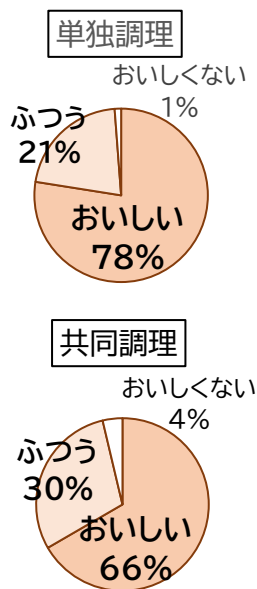
**答弁** 学校給食審議会で、尾西・木曽川地区の学校給食調理場を更新する際の調理場方式は、共同調理場方式が適切と全会一致でまともっている。その意見を踏まえ、教育委員会で同様な方式を基本とすることに決定しています。

**市は尾西・木曽川地域の共同調理場方式に固執!!**

●子どもたちに好評で良質の自校給食方式の維持を!

小学生アンケート/共同調理6校14クラス 単独調理8校14クラス  
 (学校給食審議会資料：単独調理と共同調理の比較)

- ・単独調理の方がおいしいと人気
- ・おかず「十分に温かい」が、単独調理が夏3.7% 冬4.9%高い
- ・子どもたちが給食の質に結論を示しています。
- ・コスト優先ではなく、子どもや保護者、地域の意見を反映し、尾西・木曽川地域の質の良い自校給食方式の維持を求めました。



# 危険物倉庫の建設計画を問う!

**質問** 浅野羽根団地の西に危険物倉庫(危険物第4類のアルコール類を保管)の建設計画の説明会があったが、どのようなものか? 市内に同様の倉庫はいくつあるか?

**答弁** 「屋内貯蔵所」と呼び消防法令で定めた危険物を保管。一定数量以上の危険物を貯蔵の場合、法令の基準を満し市長の許可を受ける。火災や流出事故防止のため、危険物の特性に応じて構造や設備、保管方法など定められている。原則耐火構造(例外あり)で、倉庫内は燃え広がらない材料で造られ、消火器など消防用設備等を設置。同様の危険物倉庫は市内に55棟(2024/4/1)あります。

**質問** 建設予定地は、東に道路を挟んで約100戸の浅野羽根団地があるが、危険物倉庫建設の条件は?

**答弁** 危険物倉庫は、原則として学校、病院など公共施設から一定の距離を保たなければならない。住宅の場合10メートル以上の保安距離が必要です。

**質問** 総務省消防庁発表の2023年の危険物に関わる事故総数は711件。うち危険物倉庫は? 一宮市内の事故と今後の事故防止策などはどうなるか?

**答弁** 事故件数の内訳は、火災事故243件、危険物の流出事故468件。危険物倉庫の事故8件、火災事故4件。一宮市内では2005年以降事故が発生した記録はない。消防は、これらの倉庫が法令等により適正に維持管理されているか、従業員教育は適正か、事故防止措置及び事故発生時の活動が円滑に行える体制かなどについて定期的に危険物施設の立入検査を行い、事故防止など適正な運営が行われるよう、火災予防行政に努めます。

●倉庫建設ではなく、良好な居住環境、景観と農地保全を!

- ・管理されていても事故が起きている。住民の心配は当然。
- ・この地域は水害の危険性が高いと市が認めており、建設予定地の埋め立てで水害の増加が懸念されます。

\*都市計画マスタープランからも、良好な居住環境と景観の保全、貯水機能としての優良農地の保全を求めました。

■ \*この地域の都市計画マスタープラン

「集落地におけるゆとりある居住環境の形成に向け、一団のまとまりのある農地を保全するとともに、地区計画制度の活用による良好な居住環境と景観の保全を図る」

「浸水リスクの低減に向け、貯留施設の整備を検討します。貯水機能などの防災機能を有する優良農地の保全を図る」



### 3. 自衛隊への名簿提供と個人情報保護について

一宮市6月議会 6/10  
一般質問報告② 彦坂和子

#### 自衛官募集・自衛隊へ一宮市の名簿提供へ変更の経過

- ・住民基本台帳の閲覧（2022年度まで）  
自衛隊職員が役所で台帳から対象者の住所、氏名、生年、性別を書き写す。手間がかかり間違っ書き写しもあり。
- ・一宮市が、\*対象年齢18歳の住所・氏名を表示した郵送用宛名シールを自衛隊に提供。情報提供の除外申出を開始。（2023年度～）  
\*その年度18才 ex. 2024年度：2006/4/2～2007/4/1生まれ
- ・自衛官募集に係る情報提供の除外申出（市広報2024/4月号）  
自衛隊への情報提供を望まない場合、事前に申出すれば、提供する情報から除外。受付：2024年4/1～5/15。



【質問】 郵送用宛名シールに変更した理由は？ 2023・2024年度の情報提供した数、除外申出の数は？

【答弁】 各中核市や周辺自治体の動向等をもとに検討。2023年度に情報提供した数は3,621件。2024年度の件数は出ていません。除外申出の件数は、2023年度3件、2024年度15件。

【質問】 防衛省からの募集対象者情報の提出依頼の根拠は？

【答弁】 自衛隊法第97条第1項で「都道府県知事及び市町村長は、政令の定めにより、自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務の一部を行う」との規定です。また自衛隊法施行令第120条で、「防衛大臣は、自衛官又は自衛官候補生の募集に関し必要があると認めるときは、都道府県知事又は市町村長に対し、必要な報告又は資料の提出を求めることができる」との規定です。

- ・自衛隊法第97条第1項 「都道府県知事及び市町村長は、——事務の一部を行う」と定めているだけで、募集事務の具体的内容を定めていません。個人情報の取得について何も触れてはいません。
- ・自衛隊法施行令第120条「防衛大臣は、——提出を求めることができる」と定めていますが、防衛大臣の地方自治体への協力要請を根拠づけるものにすぎず、自治体が協力要請に応じる義務を規定するものではありません。



- ・宛名シールの提供数3,621件（2023年度）は、閲覧数の約2.5倍  
住民基本台帳の閲覧数 2017年度1,353名、2018年度1,451名

#### \*自衛官募集チラシが届いた若者

大学案内は本人が資料の送付を依頼して届いています。求めてもいないのに、本人の承諾もなく自衛隊に個人情報を渡すのはやめてほしいと思います。いきなり自衛隊の案内チラシが送られ、びっくりしました。

#### \*個人情報提供を止めるため、若者が国と市を提訴

奈良市の若者が「自分の個人情報が本人の承諾もなく、自衛隊に渡っているのはすごくおかしいと思いました。若者の個人情報提供を止めるため、少しでも役に立てるのならという気持ちで、原告になることを決意しました」と語り、国と市を提訴しました。  
(平和新聞 2024/4/15号)



宛名シールを貼った封筒に自衛官募集・合同説明会チラシ

#### ● 個人情報保護の立場から、自衛隊への若者の名簿の提供はやめてほしい！



【質問】 プライバシーの権利は、憲法13条によって保障されている基本的人権と考える。個人情報の保護は、人間としての基本的権利として保障されるべきものと考えられる。個人情報保護の立場から、自衛隊への若者の名簿の提供はやめてほしい。

少なくとも、本人の同意がない情報提供をやめるため、除外申請制度の周知、チラシの作成と対象者全員へ学校を通じての配布、周知期間確保のため申請期間延長の検討を！ 市の考えは？

【答弁】 個人情報保護法を所管する国の個人情報保護委員会で、自衛官募集対象者情報の提供は、自衛隊法施行令に基づく事務であり、個人情報保護法における個人情報の「利用及び提供の制限」の例外に該当するとの見解が示されています。また、除外申請の周知、申出期間延長につきましては、引き続き適切な制度運営に努めていきます。

\*デジタル化が進む現代社会では、特に個人情報が重視されるようになっています。市が、自衛隊への若者の名簿提供をやめることへ検討を重ねて求めました。

